

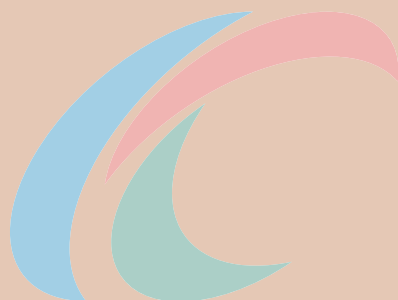
実績報告

福祉事業所

- ・ 障害福祉サービス事業所 いなほ園

訪問看護ステーション

- ・ 訪問看護ステーション めぐみ
- ・ 訪問看護ステーション アルモ



【施設名】

障害福祉サービス事業所 いなほ園

【種 別】

自立訓練（生活訓練）・宿泊型自立訓練・短期入所（併設型）

【定 員】

自立訓練（生活訓練）20名・宿泊型自立訓練18名・短期入所（併設型）2名

【職員数】

8名（管理者1名 サービス管理責任者1名 生活支援員6名）

【業務内容】

- ・地域での暮らしを自分の力で、自分らしく、また将来どうなりたいかなど様々なプログラムや個別支援による体験を通して、地域で暮らす基本的なことを当たり前に行える力を養うことができるように様々な角度からサービス提供をしている。
 1. 個別支援計画作成
 2. 生活能力の維持向上への支援
 3. 生活上の相談支援
 4. 関係機関との連絡調整等
 5. 食事提供
 6. その他、必要な支援等
- ・プログラムの基本方針「利用者が楽しみながら生活力を維持向上でき、自信をつけることができる」を職員の共通理解とし実施している。

【今後の展望】

- ・「個別支援の充実」「職員のスキルアップ」「虐待防止対策」を重点課題とし、よりよい運営や支援の充実を図り、魅力ある事業所を目指す。

文責 川島 浩也

【実績】

1. 各種取り組み等

(1) 虐待防止等に関する取り組み

	取 組 み 内 容	実施日・回数
1	虐待防止チェックリストの活用	毎 月
2	虐待防止対策研修①：現在の社会認識・虐待の種類・具体例	令和元年12月18日
3	虐待防止対策研修②：実例検討	令和2年1月15日

(2) 事業所内研修の開催

	研 修 内 容	実 施 日
1	医療観察法について（協力：新潟保護観察所）	令和元年9月4日
2	虐待防止対策研修：計2回	上記参照

(3) その他

① 就労体験プログラム：施設外作業等

	取 り 組 み 内 容	実 施 日 ・ 期 間
1	寝具交換・車イス清掃（協力：なぎさの里）	毎 週

② 危機管理対策

	取 り 組 み 内 容	実 施 日 ・ 回 数
1	防犯対策チェックリストを用いた事業所内外の巡回	毎 日
2	火災想定避難訓練	令和元年6月24日
3	火災想定避難訓練	令和元年10月30日

2. 各事業利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通所型 延べ利用者数	208	234	245	264	201	145	157	146	268	179	129	188	2,264
利用率（％）	52.0	55.7	61.2	60.0	47.8	38.1	37.3	36.5	42.0	47.1	35.8	44.7	46.5
宿泊型 延べ利用者数	261	297	326	335	305	249	242	241	250	270	202	282	3,260
利用率（％）	48.3	53.2	60.3	60.0	54.6	46.1	43.3	44.6	44.8	44.8	38.7	50.5	45.5
短期入所 居室稼働数	43	42	34	31	31	42	18	17	11	12	16	11	308
稼働率（％）	71.6	47.7	56.7	50.0	50.0	70.0	29.0	28.3	17.7	19.4	28.6	19.6	42.3

実績報告
福祉事業所・診療所

3. 新規利用開始件数

いなほ園通所型	8件
いなほ園宿泊型	6件
短期入所	2件

4. 利用終了件数

いなほ園通所型	9件
いなほ園宿泊型	5件

5. 相談受理件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
いなほ園	3	0	1	2	0	5	5	3	3	2	2	4	30件
短期入所	0	0	0	1	1	0	1	1	1	1	0	0	6件

【施設名】

訪問看護ステーションめぐみ

【種 別】

指定訪問看護（医療保険）

【職員数】

5名（看護師5名）

【業務内容】

訪問看護師が心身に障がいのある方の自宅等に訪問し、生活状況や服薬状況、症状経過などを観ながら療養生活をサポートする。住み慣れた地域または新たなる地域で本人や家族の意向とライフスタイルを尊重し、生活の質が向上できるように関わる。

利用者の地域のサービス事業所等や行政との連携、かかりつけ病院の多職種とも連携し、必要な支援を提供している。電話相談や24時間体制での訪問看護対応を実施している。

【今後の展望】

- ・地域で安心して暮らせるよう、必要な時にいつでも訪問看護を利用できる体制を強化
- ・事業所との連携や多職種との協働で在宅ケアチームの一員となる訪問看護師を育成
- ・さらなるICT化の充実で効率の良い業務、訪問看護に専念できる体制を整える。
- ・訪問看護利用者を増やし、より充実したサービスを提供していく。

【実 績】

利用状況（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	112	112	111	108	107	53	55	56	56	57	55	56	938
新規利用	3	0	2	1	0	1	2	1	1	1	2	1	15
利用終了	0	0	3	2	1	0	0	0	1	0	3	0	10
訪問件数	192	202	212	225	191	115	137	142	143	150	166	176	2051
相談件数	107	121	122	157	121	113	108	102	95	105	116	113	1380
臨時訪問	4	6	9	7	3	10	9	8	9	7	6	6	84

※9月より訪問看護ステーションアルモへ54名の利用者が移行した。

年齢別利用状況（令和2年3月31日現在）登録数56名

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上
利用者数	0名	8名	17名	15名	11名	4名	1名	0名

文責 和気 一弘

【施設名】

訪問看護ステーションアルモ

【種 別】

指定訪問看護（医療保険）

【職員数】

4名（看護師4名）

【業務内容】

令和元年9月に訪問看護ステーションめぐみに続き新規開設した。支援内容としては、健康状態、精神状態の観察、服薬管理などを行いながら、家族への支援、地域サービスや社会資源の活用方法など、生活に必要なサポートを一緒に考えている。また、一人ひとりの症状に沿った心理教育なども取り入れ生活をサポートしている。

【今後の展望】

- ・状態を的確に判断し、症状に見合った看護が展開できるよう学びを深めていく。
- ・コミュニティーを広げ、地域で求められているものを見極めていく。
- ・訪問してもらい良かったと思われるよう、一人ひとりの支援を深め、心に寄り添っていく。

【実 績】

利用状況（令和元年9月1日～令和2年3月31日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数						49	50	47	50	51	56	61	364
新規利用						4	2	3	4	6	2	2	23
利用終了						0	0	0	1	1	2	0	4
訪問件数						106	142	142	158	174	201	240	1163
相談件数						35	47	42	56	51	49	81	361
臨時訪問						1	3	1	0	2	5	1	13

年齢別利用状況（令和2年3月31日現在）登録数66名

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上
利用者数	5名	9名	19名	11名	17名	5名	0名	0名

文責 村山 礼子